

「コミュニティ心理学研究」投稿時チェックリスト (2020年4月8日改定)

投稿する前に以下について確認し、署名欄に自筆で署名し、電子化した投稿チェックリストを原稿と一緒に提出してください。下記項目に従っていない場合、投稿を受領しないことがあります。

1. 投稿資格

- 筆頭著者は、日本コミュニティ心理学会の正会員および名誉会員で、本年度の年会費を納入している。
- 論文は未発表で、かつ他の学術雑誌に投稿中ではない。
- 研究対象者にインフォームドコンセントを行い、成果の公表において対象者その他の関係者の承諾を得ている
※承諾を得ていない場合は、具体的にその状況・理由を別紙に記して送ること。
※総説論文で直接的な研究対象者が存在しない場合は、右の欄をチェックすること→ 総説論文のため該当しない。
- 所属する機関に研究倫理審査委員会等がある場合、その審査を受け、研究実施の承認を得ている。
※所属する機関に研究倫理審査委員会等がない場合は、人権擁護のための配慮、安全確保の方策、個人情報の保護、および倫理的問題が発生した場合の対応について、どのような対策を講じたのかについて、別紙に記して送ること。
※総説論文で特定のケースまたは団体を扱っていない場合は、
右の欄をチェックすること→ 総説論文のため該当しない。
- その他、論文の内容と研究の手続きは「日本コミュニティ心理学会倫理綱領」に準じている。

2. 原稿の体裁

- 原稿は 学会所定の論文用テンプレートを用い、A4 サイズで1 ページ 32 字×25 行(800 字)となっている。
- 表紙は 2 ページからなり、1 ページ目には論文種別の他、題名・著者名・著者所属機関の順に、日本語・英語の両方が記載されている。
- 表紙の 2 ページ目は、英語を母国語とする者の査読済みの英文アブストラクト(200 語程度)、および、論文内容を表す日本語・英語両方の key words(3~5 語)が記載されている。
- 論文の長さは、図表を 1 枚 500 字として換算して原著・総説は 20,000 字以内、資料は 10,000 字以内になっている。

3. 本文

- 略語は初出時にフルスペルを記し、その後の()内に略語が記載されている。
- 同意語や類似概念の混在を避け、名称や用語が統一されている。
- 図表は引用順に番号が振られている。また本文中に挿入箇所が示されている。
- 本文中の文献の引用の仕方は、「執筆・投稿のてびき」に従っている。

4. 引用文献リスト

- 引用したすべての文献がリストアップされている。かつ引用していない文献はリストに入っていない。
- 文献リストと本文の引用に、綴りや年号の不一致がない。
- リストの順序は、著者の姓のアルファベット順、同一著者については年代順となっている。
- その他、引用文献の記載の仕方は、「執筆・投稿のてびき」に従っている。

5. 図表

- 表の題名は表 1、表 2…として表の上部に、図の題名は図 1、図 2…として図の下部に書かれている。
- 図表は 1 枚の用紙に 1 つずつ書かれている。

6. 著作権の帰属と論文の公開

- 本誌に掲載された論文等の著作物に関する国内外の一切の著作権 (著作権法第 21 条から第 28 条までに規定されるすべての権利を含む) が、日本コミュニティ心理学会に帰属することを認める。
- 本誌に掲載された論文を電子化して公開することに同意する。

以上、間違いありません。

_____年 _____月 _____日 署名 : _____